

第20回放射線管理分科会 議事録

1. 日 時：平成28年8月2日（火）13：30～15：30

2. 場 所：日本電気協会 4階 C, D 会議室

3. 出席者（敬称略，順不同）

出席委員：中村分科会長（東北大学名誉教授），上蓑副分科会長（理化学研究所），服部副分科会長（電力中央研究所），和田幹事（日本原子力発電），井上（首都大学東京），赤羽（放射線医学総合研究所），住谷（日本原子力開発機構），古賀（電源開発），飯田（東京電力），前田（北陸電力），伴（高エネルギー加速器研究機構），阿南（原子力安全技術センター），川島（東芝），林（日立製作所），村松（三菱重工業），中島（富士電機），近内（海上技術安全研究所），齋藤（産業技術総合研究所），加藤（真）（横浜薬科大学），高木（関西電力），河合（中部電力），須澤（中国電力），柚木（産業技術総合研究所），加藤（徹）（日立製作所），仙波（原子力安全推進協会）（25名）

代理委員：吉野（北海道電力・菊池代理），天野（東北電力・三上代理），榊原（四国電力・門屋代理），辻（九州電力・山口代理）（4名）

欠席委員：横山（藤田保健衛生大学），飯本（東京大学），吉澤（日本原子力開発機構），大山（日本原燃），宮古（千代田テクノル）（5名）

常時参加者：竹田（原子力規制庁）（1名）

オブザーバ（説明者等）：高田（防衛大学校），沼端（日本原燃），井上（中部電力），五嶋（三菱重工）

（4名）

事務局：荒川，丸山，永野，大村（日本電気協会）

（4名）

4. 配布資料

資料 20-1 放射線管理分科会 委員名簿

資料 20-2 前回(第19回)放射線管理分科会議事録（案）

資料 20-3 放射線モニタリング指針 JEAG 4606-2003 の改定について（報告案）

資料 20-4 JEAG 4606「放射線モニタリング指針」の改定案に対する分科会委員等からのご意見・コメント整理表

資料 20-5 JEAG 4606「放射線モニタリング指針」の改定案に対する原子力規格委員会委員からのご意見・コメント整理表

資料 20-6 放射線モニタリング指針の改定前後比較表（案）

資料 20-7 JEAG4606「放射線モニタリング指針（改定案）」（完本版）

参考資料-1 第59回原子力規格委員会 議事録（案）

5. 議 事

（1）代理出席者等の承認および会議定足数の確認

事務局から代理出席者4名を紹介し，分科会長の承認を得た。出席委員数は代理出席者を含めて29名であり，委員総数の2/3以上であることが確認された。

（2）分科会委員及び検討会委員の交代について

事務局より配布資料20-1により，分科会委員2名及び検討会委員5名の交代について紹介があった。

1) 分科会委員の交代

事務局より配布資料 20-1 により、放射線管理分科会の新委員候補 3 名の紹介があった。なお、9 月 27 日開催の原子力規格委員会において正式承認される予定。

【放射線管理分科会】(退任：2 名，新任：3 名)

- ・門屋 雅之 (四国電力) → 西村 幹郎 (同左)
- ・山口健二郎 (九州電力) → 辻 達之 (同左)
- ・加藤 真介 (横浜薬科大学)

2) 検討会委員の交代

事務局より配布資料 20-1 により、各検討会の新委員候補 7 名及び退任予定委員 7 名について紹介があった後に、分科会で承認された。

【放射線モニタリング指針検討会】(退任：3 名，新任：3 名)

- ・吉林 貴良 (中部電力) → 井上 英彦 (同左)
- ・小野寺 聡 (電源開発) → 山田 浩巳 (同左)
- ・山口健二郎 (九州電力) → 辻 達之 (同左)

【個人線量モニタリング指針検討会】(退任：4 名，新任：4 名)

- ・川西 貞次 (日本原子力発電) → 小坂橋忠重 (同左)
- ・小野寺 聡 (電源開発) → 山田 浩巳 (同左)
- ・吉林 貴良 (中部電力) → 井上 英彦 (同左)
- ・山口健二郎 (九州電力) → 辻 達之 (同左)

(3) 前回議事録の承認

事務局より配布資料 20-2 が紹介され、正式議事録とすることが承認された。

(4) 放射線モニタリング指針の改定案について

1) 放射線モニタリング指針の改定案について

放射線モニタリング指針検討会の井上主査(注：本分科会で委員交代が承認されたため、正式に主査に就任)より、資料 20-3～20-7 に基づき、放射線モニタリング指針改定案の説明、及び分科会・規格委員会からの中間報告へのコメント対応案について説明があった。主な質疑及びコメントは下記の通り。

【主な質疑及びコメント】

- ・資料 No.20-3 P3 及び P4 において、図中の矢印の向きの意味が分かりにくい。直線で良いのではないか。【中島委員】
→厳密ではないかも知れないが、矢印は情報が引用されている向きを表している。今回は、あえて現行の表現のままとする。

- ・資料 No.20-5，原子力規格委員会のコメント対応によって、指針の記載は変更となるのか。

【中村分科会長】

→変更とならない。

・資料 No.20-5, コメントNo.4, 地下水モニタリングは, 通常時は問題がない。福島事故は特殊な事例で指針に反映する必要はないとのことであるが, 事故時には必要とならないのか。

【加藤(真)委員】

→事故時に必要なモニタリングは, 指針に一通り掲載している。地下水モニタリングは, 事故時に個別に考える事項である。

・資料 No.20-5, コメントNo.5, 検討会での検討結果欄, 第3パラグラフの「事業者が想定する ～に決定しており, 想定する～」は, 「事業者が想定する ～に決定しており, 本指針では想定する～」に修文し, コメントに対応した表現とした方が良い。【服部副分科会長】

→適切な文章に修正する。

・資料 No.20-5, コメントNo.5, 検討会での検討結果欄, 第4パラグラフの「臨界事故を例にする と ～測定する。」は, 「臨界事故を例に重大事故からモニタリングに繋がるロジックを説明すると ～測定することになる。」に修文し, コメントに対応した表現とした方が良い。

【服部副分科会長】

→適切な文章に修正する。

・資料 No.20-5, コメントNo.6, 再処理施設の排気モニタの耐震クラス C は, 見直しを行うのか。

【中村分科会長】

→現在, 耐震クラス C で良いか検討中である。結論が出た後に, 必要があれば見直し。

・P21/46, 解説 4-2, 「～中央制御室等で行う。」と記載しているが, P17(1)a.等, その他の箇所では, 「～中央制御室その他当該情報を伝達する必要がある場所」と記載している。解説 4-2 の表現はこれで良いのか。【加藤(真)委員】

→以前の分科会で同様のコメントを受け, 「中央制御室」を「中央制御室等」に見直した。

・P32/46, 6.3.1(2)b.では, ZnSシンチレーション検出器, P16/46, 3.2.2(1)a.(c)エ.等では ZnS(Ag)シンチレーション計数装置となっており, 括弧付きの表記と括弧無しの表記が混在している。また, 同様の表記として NaI(Tl)シンチレーション検出器があり, 括弧付きの表記となっている。括弧を付けるかどうか表記を統一した方が良い。【加藤(真)委員】

→ZnS を ZnS(Ag)とし, 括弧付きの表記に統一する。

・P39/46, 7.3.2(2)a., 「一次電池や二次電池等」は「一次電池, 二次電池等」にした方が良い。

【柚木委員】

→拝承。

・P41/46, 8.1(3), 「放射性物質又は放射線の放出の早期検出～」は「放射性物質の放出又は放射線の早期検出～」にした方が良い。【柚木委員】

→拝承。

・P46/46, 参考文献, 「IEC 601031 Ed.1.0:1990(b)」と記載されているが, 文献に「(b)」の記載があるか確認してはどうか。【柚木委員】

→確認する。

2) 放射線モニタリング指針改定案の書面投票

放射線モニタリング指針改定案の審議の後に、書面投票への移行の可否について挙手による決議を行い、書面投票に移行することとなった。書面投票のスケジュールは下記の通り。なお、書面投票の結果、反対意見付き反対が無く、賛成票が得票数の2/3以上となった場合は可決となる。

- ・ 8月3日(水) 事務局から各委員へ書面投票用紙をメールで送付
- ・ 8月3日(水)～8月23日(火) 17:00 書面投票受付(3週間)

6. その他

(1) 第59回原子力規格委員会について

事務局より、参考資料-1により、第59回原子力規格委員会議事録(案)のうち、放射線管理分科会関連の報告があった。

1) JEAG4606「放射線モニタリング指針」の中間報告について

JEAG4606の中間報告を実施し、1か月を目途にご意見を頂く。

2) 次回開催日について

第60回原子力規格委員会は、平成28年9月27日(火)午後を実施。

(2) 次回の放射線管理分科会の開催について

次回の放射線管理分科会の日程は、平成28年11月7日(月)となった。なお、議題が無い場合は開催を延期する。

以上